



調印後、固く握手を交わす野村支庁長と長崎町長、菊地村長

虻田町と本村の合併協定調印式が三月二十八日、虻田町役場で開催されました。

調印式には、虻田町・長崎・洞爺村・菊地の両町村長のほか、野村胆振支庁長、両町村議会議員、並びに合併協議会委員の皆さんが立会人として出席しました。

はじめに、両首長が協定書に署名、押印し、続いて立会人として、野村胆振支庁長と、合併協議会委員全員が署名しました。

また、翌二十九日には、第二回洞爺村議会臨時会が開かれ、合併関連議案が全会一致で可決されました。

両町村議会での議決を受けて、三十日に、両首長が胆振支庁を訪れ、道知事あての合併申請書を提出し、来年三月二十七日の『洞爺湖町』誕生に向けて大きな第一歩を踏み出しました。

巣立ち・旅立ち

各校で卒業式

三月、各校の卒業式が、一日の洞爺高校を皮切りに行われ、小学校十一名、中学校三十三名、高校二十名が卒業しました。

三月十八日に卒業式が行われた香川小学校では、来賓、父母、教職員、在校生が見守る中、卒業生となる二名に藤田咲美校長から一人ずつ卒業証書が手渡されました。



香川小最後の卒業証書を受け取る

式辞の中で、藤田校長が「四月からは半分大人として扱われる中学生です。これから、もっとも大切なのは言葉です。言葉の重みを二人には自分の世界をもっともつと広げるために心に留めておいてもらおうよう期待しています。」とお祝いの言葉を述べ、二人は、これから始まる中学校生活に期待し、改めて夢をいだいてい



来賓、両親に見送られる卒業生

る様子でした。
また、平成十八年度には統廃合により四つの小学校が一つになることから、香川小学校、大原小学校では新六年生がいなかったため、最後の卒業式となりました。

もうすぐ小学一年生 洞爺保育所退所式

三月三十日、洞爺保育所退所式が行われました。

今年、すみれ組の十一人が保育所から各小学校へ巣立っていきました。

保育証書を受け取った子どもたちは、大きくなったら何になりたいかなど、将来への夢を元気に発表していました。

来賓の教育長より「小学校に行けば今まで以上にいろいろな体験をすることになると思います。四月七日からはランドセルに夢と元気を詰め込んで元気にがんばってください」



将来の夢を発表する退所児

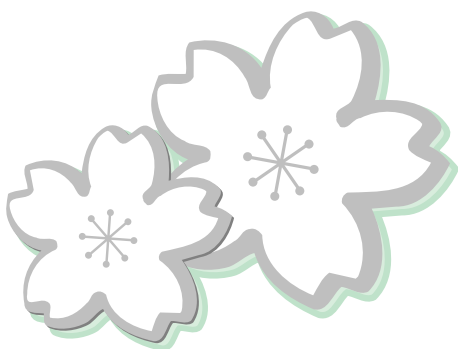
とお祝いの言葉がおくられました。

お別れの歌では、思い出のスライドを上映しながら、児童十一人が、『思い出のアルバム』を元気よく歌いました。会場では、成長したわが子の姿に涙ぐむ父母や先生方も見られました。

みなさん、小学校へ行って、も、元気いっぱい、遊びに、勉強にがんばってください。



お別れの歌を元気よく歌う



とうや児童クラブ

学童保育がスタート



折り紙に取り組む児童

四月四日、村で初めての学童保育所、通称「とうや児童クラブ」が洞爺保育所向いの元教育長住宅を活用し開所しました。

この日、朝八時に行われた開所式で菊地村長は、「児童の安心安全と健全な心を願い、学童保育所を開所致しました。今後、地域のみなさまのご協力のもと、運営して行きたい。」とのあいさつがあり、その後すぐに運営が開始されました。

この日入所した児童は、早速、折り紙などを楽しんでい



開設された「とうや児童クラブ」

ました。

この学童保育は、子育て支援事業のひとつ「放課後児童健全育成事業」として行われるもので、昼間保護者のいない小学校低学年の児童を対象に児童の健全育成と、働く女性の環境作りとして開始されました。

子どもたちの元気な声が響く

図書室こどもまつり

三月五日総合センターで、大人、子どもたち約五十名が参加して図書室こどもまつりが行われました。

はじめに、たんぼぼの会の皆さんが絵本の読み聞かせを行い、子どもたちは真剣な表情で聞き入っていました。

次に、同会の皆さんによる、新聞紙のページをバラバラにしたものを元どおりにするパズルゲームなどを行い、パズルを完成させた子どもたち

から大きな歓声が上がっていました。

また、札幌市で書店を営んでいる遠山豊さんが手遊びを披露し、子どもたちは、遠山さんのユーモアいっぱいのお動作におおはしゃぎでした。



真剣なまなざしで聞き入る子どもたち

平成十七年度予算は総額で三十二億五千五百万円 前年度当初比6.6パーセント減の緊縮型 厳しい財政状況を反映

第一回洞爺村議会定例会が、三月八日から二十三日までの会期で開かれました。

村長、教育長がそれぞれ村政執行方針、教育行政執行方針を述べ、平成十七年度一般会計及び五特別会計予算、各条例の制定並びに固定資産評価審査委員会委員等の選任など、議案二十五件を審議、いずれも原案どおり可決、同意されました。



村政執行方針を述べる菊地村長

平成17年度予算

平成17年度一般会計予算は、二十三億二百万円、平成16年度当初に比べ、一億九千五百万円、7.8%の減となりました。

また、国民健康保険、老人保健、介護保険、簡易水道、公共下水道の五特別会計の額は、九億五千三百三十八万九千円で、一般会計と特別会計を合わせた今年度の予算総額は、三十二億五千五百三十八

村長行政報告

万九千円で、前年度当初に比べ、二億三千百八十四万六千円、6.6%の減となりました。

(予算のあらましについては、別冊『今年の村の予算と事業内容』をご覧ください。)

▽洞爺村と虻田町の二町村で合併をめざすことに関する住民説明会及び住民意思の確認調査の実施について

豊浦町、虻田町、洞爺村の三町村において昨年六月二十八日に法定協議会を発足させ、去る一月十八日に第七回の合併協議会をもって、協定項目四十五項目の協議を終了し、協議結果についての住民説明

会をそれぞれ三町村で実施し、新町のまちづくりの方向性について示し、三町村による合併をめざしてきたところです。

このような中、豊浦町及び虻田町において、三町村での合併の是非について住民の意思を問う住民投票が二月二十七日実施され、その投票結果を踏まえ、豊浦町においては、二月二十八日、三町村合併協議会からの離脱という決定がされたところです。

豊浦町の離脱という急転直下の事態を受け、残る虻田町、洞爺村で法定協議会の継続の可否について協議を行い、共に早急に決断することで一致し、議会の市町村合併問題調査特別委員会に協議をお願いし、洞爺村としては住民意思を尊重する姿勢から洞爺村と虻田町の二町村で合併をめざすことに関する住民説明会及び住民意思の確認調査を実施しました。

住民意思の確認調査結果は、対象者千五百八十一人のうち回答者千二百十三人(回収率76・72%)、二町村の合併についての賛成者数八百六十六人(71・39%)、反対者三百四十二人(28・20%)、賛否不明五人(0・41%)の結果となりました。

▽胆振西部衛生組合の今後のあり方について

胆振西部衛生組合の施設の老朽化に伴い、し尿処理対策の今後のあるべき姿について、市町村の担当者からなるワーキンググループでの検討結果を踏まえ、組合議会定例会、構成市町村の首長会議等で検討し、伊達市の下水処理場に関する前処理施設を新設処理する方法で、汚水処理施設共同事業いわゆるMICS(ミックス)事業で実施することに決定し、伊達市への受入れ要請、構成

市町村との協定書の締結、道との補助協議などの事務作業を進めているところです。

なお、これまでの協議事項は次のとおりとなっています。胆振西部衛生組合の今後のあり方については、

一 既存施設の解体に伴う補助金の返還は伴わない見込みである。

二 業務執行機関は、基本的には、一部事務組合を解散し、伊達市への全面委託とする。

三 事務所の場所は、供用開始（平成二十一年四月）と同時に、伊達市終末処理場内に移転する。

四 収集運搬体制は、従来どおり業務委託する。

五 財産処分とその負担方法については、閉鎖している旧第一、第二施設については、平成十六年度より計画的に解体する。

現在、稼動中の施設の解体経費については、解体負担金として市町村負担金に参入し、計画的に積み立てる。

土地については、伊達市への帰属または売却等により処分する方向で、構成市町村で今後検討していく。

六 組合解散の目標年度を平成二十三年度末に設定し、各種準備を進めるものとする。

七 詳細の検討は、供用開始後の維持管理協定の検討と合わせ、平成十九年度初期からとする。

次に、施設解体経費及び積立計画については、閉鎖している旧第一、第二施設について、平成十六年度より部分的に解体を実施しており、現施設を合わせると、解体費用の総額は、二億八千九百八十六万五千円になる予定ですが、そのうち、会計年度ごとの既定予算で措置する解体費用は、一億三千五百二十六万五千円となります。

また、年次計画で積立てする解体費用は、一億五千四百六十万円となる予定です。

▽主要事業の発注状況について（二月二十八日現在）

洞爺小学校増改修工事設計委託業務ほか一件について報告しました。

教育長行政報告

▽平成十七年度洞爺村成人式について

第五十四回洞爺村成人式を、新成人の出席しやすい日時を考慮し、成人の前日の一月九日、日曜日午後二時から、洞爺村総合センターにおいて実施しました。

本年の対象者は男子十七名、女子十九名の合わせて三十六名で、式典には二十七名の方の出席がありました。

新成人の皆さんは、来賓の方々と父母を前に、一人ひとりが、近況報告や社会人としての決意、将来の夢を堂々と述べ、会場の皆さんより激励の拍手をいただきました。

式典終了後の祝賀会では、

久しぶりに会う同級生や中学校の恩師を囲み、懇談をしたりビデオプロジェクトによる小学生、中学生時代の懐かしい映像に歓声を上げたりと和気あいあいのうちに終了することができました。

▽平成十七年度洞爺高等学校入学応募状況について

平成十七年度洞爺高等学校への入学出願者は、定員四十名に対し、現在男子十三名、女子十六名、計二十九名となっています。うち、推薦入学出願者六名については、二月十四日に面接試験が実施されています。

入学出願者は、昨年に比べ、三名の減となっていますが、胆振西部からの出願者が半数近くと増加の傾向にあります。

また、まだ定員に達していないことから、三月二十四日より第二次募集が行われますので、札幌方面、胆振各学区の中学校に対しまして、在学中にホームヘルパー二級などを

のさまざまな資格が取得できることを含め、洞爺高校の特色をPRし、再度、入学募集の働きかけをまいります。

人事

▽監査委員の選任について

現委員の財田の原昌明さんの任期が六月三日で満了となることから、原さんの再任に同意されました。

▽固定資産評価審査委員会委員の選任について

現委員の四町内の北嶋小二郎さんの任期が五月二十三日で満了となることから、北嶋さんの選任に同意されました。

豊浦町・虹田町・洞爺村合併協議会を設置する関係市町村数の減少及び同協議会規約の変更について

同合併協議会から豊浦町が離脱することを受け、虹田町と洞爺村の二町村で合併協議

会を継続するため、規約の変更を行うものです。

一般会計補正予算

▽各事業の終了に伴う精算による減並びに充当財源の変更に伴うものです。

国民健康保険特別会計補正予算

▽国保連合会に対するレセプト点検数の増に伴うものです。

老人保健特別会計補正予算

▽老人診療報酬額の増に伴うものです。

洞爺村簡易水道特別会計補正予算

▽簡易水道中央監視システム更新事業の執行残に伴うものです。

条例の制定

▽洞爺村個人情報保護条例

国の個人情報保護法を受け、村が保有する個人情報の適正な取扱いの確保に関し、必要な事項を定め、公正で民主的な村政を推進するため、制定するものです。

▽洞爺村情報公開・個人情報保護審査会条例

洞爺村個人情報保護条例の制定にあたり、本制度を公平に取扱うため、第三者機関として設置するものです。

▽洞爺村放課後児童健全育成事業に関する条例

働く女性を支援するため、放課後児童の健全育成を目的に学童保育事業を平成十七年四月一日から実施するためのものです。
(開設場所は洞爺保育所前)

の元教育長住宅です)

条例の改正

▽議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

▽特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

▽洞爺村長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例

▽洞爺村職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例

以上四件は、厳しい財政状況に鑑み、旅費及び費用弁償の見直しが必要ことから実施するものです

▽洞爺村立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例

平成十七年度入学者より、道立高等学校の授業料の改正に伴い、洞爺村立高等学校の授業料を改正するものです。(月額九千二百円を九千六百元に改正になります)

▽洞爺村立高等学校寄宿舎条例の一部を改正する条例

洞爺村立高等学校寄宿舎の維持経費のうち入居者の生活に直接、関わる経費について、応分の負担をお願いするためのもです。
(月額五百円の共益費を負担いただきます)

▽洞爺村立保育所保育の実施に関する条例の一部を改正する条例

働く女性を支援するため、延長保育事業の実施に伴い、関係条例を整備するものです。

▽洞爺村へき地保育所設置条例の一部を改正する条例

働く女性を支援するため、へき地保育所における延長保育の実施並びにへき地保育所開設場所を変更し、実施するためのものです。
(設置場所を大原地区センターに変更し、延長保育を受ける方は、次の負担となります)

区分	月額	
	60分延長	120分延長
満2歳児(1・2歳児)	1,600円	1,800円
3歳以上	1,400円	1,600円

洞爺村道路線の変更及び認定について

▽変更する路線

旧セロ口線
 (新道完成に伴い、起点と終点の変更になったためです)

▽新規認定する路線

洞爺19号線
 (農協スタンドから洞爺寺下の交点までの旧道道です)
 洞爺20号線
 (不動坂の改良に伴う旧道道です)

一般質問

次のとおり、質問がありました。

▽毛利六男議員

- 洞爺村立小学校の統廃合について
- 児童、生徒への防犯対策について
- へき地保育所の設置位置に



ついで

▽五十嵐篤雄議員

- 平成十七年度村政執行方針について
- 二町村の合併への取組みについて

▽高橋利典議員

- 職員の健康管理について
- 非常勤嘱託職員の公募について
- (質問・答弁の内容については、五月発行予定の「村議会だより」をご覧ください)

『洞爺湖町』誕生に向けて

住民説明会・住民意思の確認調査

豊浦町の離脱を受け、虻田町と洞爺村の二町村で合併をめざすことに関する住民説明会が、三月四日から六日までの日程で六会場で行われました。

調査の結果は、次のとおりです。

- 調査対象者千五百八十一人
- 回答者千二百十三人
(回収率76・72%)
- 賛成者八百六十六人
(71・39%)
- 反対者三百四十二人
(28・20%)
- 賛否不明五人(0・41%)

続いて、三月二十六日には、総合センターと農業研修センターで、それぞれ、虻田町と洞爺村の二町村で協議決定した内容や合併申請に関する手続き等の日程について説明を行いました。

この後、三月二十八日合併協定調印式、三月二十九日第二回洞爺村議会臨時会での合併関連議案の可決、三月三十日北海道への合併申請書の提出と、来年三月の『洞爺湖町』誕生に向けて、一步を踏み出しました。



虻田町との合併に関する議案を全会一致で可決

来年三月二十七日『洞爺湖町』誕生へ第一歩

第二回洞爺村議会臨時会が、三月二十九日に開かれました。村長が、三月二十八日に虻田町役場で行われた本村と虻田町との合併調印式について行政報告を行ったあと、合併関連議案六件を含む八件の議案を審議、いずれも原案とおりに可決されました。

村長行政報告

▽洞爺村と虻田町との合併協定調印式の開催について

昨日(三月二十八日)、虻田町において洞爺村と虻田町の二町村による虻田町、洞爺村合併協定調印式が開催され、関係各位のご臨席を賜り、滞りなく執り行われました。調印式は、野村胆振支庁長、両町村議会議員各位、そして、合併協議会委員の皆様の立会のもと進められ、両町村長のあいさつに続き、経過報告及

て新たに「虻田郡洞爺湖町」を設置することを北海道知事に申請することについての議案です)

▽虻田郡虻田町及び虻田郡洞爺村の廃置分合に伴う財産処分に関する協議について

〔「虻田郡洞爺湖町」を設置することに伴う財産処分に関する、虻田町と協議のうえ定めることについての議案です)

▽虻田郡虻田町及び虻田郡洞爺村の廃置分合に伴う議会の議員の在任に関する協議について

〔「虻田郡洞爺湖町」を設置することに伴う虻田町及び洞爺村の議会の議員の任期に関

し、虻田町と協議のうえ定めることについての議案です)

▽虻田郡虻田町及び虻田郡洞爺村の廃置分合に伴い設置される町の議会の議員の定数に関する協議について

〔「虻田郡洞爺湖町」を設置することに伴う議会の議員の定数を虻田町と協議のうえ定めることについての議案です)

▽虻田郡虻田町及び虻田郡洞爺村の廃置分合に伴う農業委員会の選挙による委員の任期に関する協議について

〔「虻田郡洞爺湖町」を設置することに伴う虻田町及び洞爺村の農業委員会の選挙による委員の任期に関し、虻田町と協議のうえ定めることについての議案です)

▽虻田郡虻田町及び虻田郡洞

爺村の廃置分合に伴う地域審議会の設置に関する協議について

〔「虻田郡洞爺湖町」を設置することに伴う地域審議会の設置を虻田町と協議のうえ定めることについての議案です)

なお、議会の議決を受けて、三月三十日に、菊地村長と虻田町の長崎町長が胆振支庁を訪れ、道知事あての合併申請書を提出しました。

この後、道議会の議決を受けて、国(総務大臣)への手続きが行われる予定です。

条例の改正

▽洞爺村課設置条例の一部を改正する条例

厳しい行財政に鑑み、組織の効率を高めるため、産業課と建設課を統合し、産業建設課を設置し、現状の五課を四

合併関連議案

▽虻田郡虻田町と虻田郡洞爺村の廃置分合について

(平成十八年三月二十七日から虻田郡虻田町と虻田郡洞爺村を廃し、その区域をもつ

課にするものです。

▽洞爺村税条例の一部を改正する条例

国の税制改正を受け、条例の一部を改正するものです。

駐在所所長に 玉手さん着任



伊達警察署洞爺駐在所長として、阿寒町から玉手一彦警部補が四月一日付けで着任しました。

玉手さんは、弟子屈町の出身で、昭和四十七年に道警に入られ、釧路方面本部を振り出しに道警本部、門別などに勤務され、平成十二年から釧路警察署阿寒駐在所に勤められていました。

教職員人事

■転入

洞爺小学校

校長（早来町早来中）

刑部守敬

事務職員（壮警町壮警小）

宮野正行

成香小学校

校長（苫小牧市大成小）

鳥井 隆

大原小学校

養護教諭 中井みずえ

洞爺中学校

教諭（虻田町洞爺湖温泉中）

戸島直美

洞爺高等学校

教諭（新採用）

大森裕介

村職員人事

役場機構の一部改正と村職員の人事異動を四月一日付けで行いました。

機構の改正では、産業課と建設課を統合し、四課一室の

体制にしました。

■異動（四月一日付）

【総務課】

総務課付参与（建設課長）

関本正行

総務課付参与、虻田町・洞爺村合併協議会勤務（総務課付参与豊浦町・虻田町・洞爺村合併協議会勤務）

大西康典

財政管財係長（財政管財係）

末永弘幸〓昇任

情報防災推進係長（産業課

産業係長）

水本博之

企画係（住民福祉課保健衛生

係）

木村慎一

総務課付、虻田町・洞爺村

合併協議会勤務（商工観光

課商工観光係）

八子行和

保健衛生係長（総務課情報

防災推進係長）

唯木浩明

【産業建設課】

課長兼洞爺村農業研修セン

ター所長（教育委員会生涯

学習課長兼保育所長）

村上正弘

主任農業技術指導員兼農業

研修センター試験研究係

長（産業課主任農業技術

指導員兼農業研修センター

試験研究係長）

上野一郎

課長補佐兼産業係長（総務

課長補佐兼財政管財係長兼

洞爺村選挙管理委員会書記

山本 隆

課長補佐兼建設係長兼車両

係長兼上下水道係長（建設

課建設係長兼車両係長）

山崎貞博〓昇任

産業係（産業課産業係）

村上友和

産業係（産業課産業係）

大西 慎

建設係（建設課建設係）

以西隆一

車両係兼産業係（建設課車

両係兼産業課産業係）

小林政市

上下水道係（建設課上下水

道係）

林 徳昭

【教育委員会】

生涯学習課長兼保育所所長

（産業課長兼洞爺村農業研修

センター所長）

中澤 茂

生涯学習課長補佐兼社会教

育主事（社会教育係長兼社

会教育主事）

大森康弘〓昇任

生涯学習課教育振興係長

（生涯学習課教育振興係）

大西記代〓昇任

生涯学習課教育振興係（総

務課企画係）

仙波貴樹

生涯学習課教育振興係（生

涯学習課社会教育係）

黒澤博美

生涯学習課社会教育係長

（生涯学習課教育振興係長）

高橋 勉

【議会事務局】

事務局長（住民福祉課長補

佐）

倉茂 修〓昇任

■新採用（四月一日付）

総務課財政管財係



まさひと 征史
みさわ 三澤

札幌市南陵高校を卒業後、
札幌工業大学を平成十五年卒
業、札幌市に臨時職員として
勤務。

札幌市出身

住民福祉課保健衛生係（保
健師）



ゆき 友紀
やまぐち 山口

福島県磐城女子高校を卒業
後、学習院短期大学を卒業。
民間企業に勤務を経て北海
道衛生学院を平成十七年卒業。
札幌市出身

洞爺保育所（保育士）



たい き 泰生
たいらく 大楽

伊達高校を卒業後、恵庭ハ
イテクノロジー専門学校保
福祉科を平成十年卒業。
イギリス留学を経て洞爺保
育所に臨時職員として勤務。
伊達市出身

■退職者（三月三十一日付）

近藤利男（議会議務局長）
成田郁夫（建設課上下水道
係長）
大嶋 豊（給食センター主
任兼生涯学習課社会教育係
水間洋子（住民福祉課保健
衛生係長）
齋藤 誠（総務課付合併協
議会勤務）

誕生
おめでとーございませう

横山 陽一くん

父 真和さん

母 未歩さん

2月21日生まれ

長男

緑 沢

川原 菜々美ちゃん

父 伸一さん

母 めぐみさん

3月4日生まれ

二女

美沢 東

おくやみ
申し上げます

京谷 常雄さん

3月21日死去

90歳

美沢 西

宮内 イトエさん

3月25日死去

99歳

財 田

小林 繁雄さん

3月26日死去

79歳

4 町内

吉田 光くん

父 龍哉さん

母 素子さん

3月8日生まれ

長男

五町内

